

株式会社ダイテック

挑戦と追求が生んだ高い溶接技術 チタンをはじめ難接材が得意分野

[製造業]

チタン溶接

■企業プロフィール

【本社】〒793-0046
愛媛県西条市港字北新地462-4
TEL / 0897-53-0458
FAX / 0897-47-3988
【関東営業所】〒213-0012
神奈川県川崎市高津区坂戸3丁
目2番1号 西棟4階 NEO-G2号室
TEL / 04-4455-6221
FAX / 04-4455-6340
設立 / 平成19年4月
資本金 / 2,500万円
事業内容 / チタン溶接・加工、サ
ニタリー・真空・プラント配管等
<http://www.daitec-co.com>
daitec-d.shimizu@eagle.ne.jp

■社長プロフィール

清水 大吾
1976年西条市生まれ。高校卒業
後、9年間の実務経験のなかで高
い溶接技術を習得し、27歳で起
業、現在に至る。
座右の銘は“諦めない”
趣味は釣り。



スロوغان
● 他社がやらない仕事を、最高の品質で提供する
● オリジナル製品・サービス
● 当社が得意とするチタンの溶接を最大限に活かし、設計・加工の分野における地域の専門業者と連携しグループによる買生産を可能にする



代表取締役
Daigo Shimizu

清水 大吾

熟練した技能と知識を活かし
さらなる技術革新へ挑み続ける



高度な技術が要求される 配管溶接からチタン溶接まで

一般溶接工事をはじめ、真空配管やステンレス製サニタリー配管など、精度と品質が要求される配管溶接を手掛けている株式会社ダイテック。顧客は発電・工業用プラントの施工会社、半導体製造装置部品や医療品製造装置のメーカーなど多岐にわたる。同社の強みは、他社が敬遠するようなチタンやハステロイなどの難加工素材の溶接にも積極的に取り組むことで培ってきた、独自の高度な技術。顧客のニーズに応える最大限の挑戦と細やかな仕事によって、深い信頼関係を築いてきた。

愛媛大学との共同研究や 専門家による指導でさらなる進化

ステンレスにかわる次代の素材として、3年程前からチタンに注目してきた同社。チタンは腐食や錆に非常に強く、硬さもありながら、ステンレスよりも軽いという非常に優れた特性を持つ。その反面、加工にも溶接にも

高度な技術が必要とされ、そのノウハウ自体が企業秘密とされていることが多い。そこで同社は愛媛大学との共同研究に取り組み、さらにチタン溶接に高い知見を持つ専門家による指導を繰り返し仰ぎながら技術の向上を目指してきた。また市内の企業2社と連携し、設計から加工、溶接までの一貫体制を可能とする共同受注体制を構築。経済産業省より「特定下請連携事業」として認定を受けている。これにより、さらに幅広いニーズへの対応やコストの削減、納期の短縮が実現され、アフターフォローまで含めたトータルなマネジメントを手掛けることで、より同社の強みを活かせる体制が整った。

全国各地から引き合い多数のため 平成26年度より関東営業所も開設

平成26年度より、連携各社とともに開発してきたチタン製品の展示会への出展にも積極的に取り組んでいる同社。関連業界からは「チタンの技術もここまでできたか」といわれるほど注目度が高く、全国各地から引き合いが絶えない状況だという。今後は人材育成にも注力し、チタンを扱える有資格者を増やすことで、大規模な案件にも対応できる製造体制を目指す。平成27年4月には関東営業所も開設し、関東エリアのニーズへのより細やかな対応も可能となり、さらなるシェア拡大へ期待がかかる。